

令和7年度

統計資料等を活用した県内景気動向等の分析調査報告書

利府松島商工会

# 目次

## I. 県内景気動向

1. 生産
2. 受託投資
3. 公共投資
4. 個人消費
5. 雇用
6. 企業倒産

## II. 全国・東北等の景況

1. 全国の景況
2. 東北の景況
3. 宮城県の景況

## III. 宮城県商圏内の消費購買動向

## IV. 地域内の観光動向

# I. 県内景気動向

(みやぎ経済月報 2026年1月号より引用)

## 1 生産

### ○ 鉱工業生産指数

11月の鉱工業生産指数(季節調整値、令和2年=100)は102.1(速報値)で、前月比は3.1%低下し、2か月ぶりの低下となった(図1、2)。

輸送機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業など5業種が上昇した。一方で、汎用・生産用・業務用機械工業、化学、石油・石炭製品工業など10業種が低下した。

前年同月比(原指数)では、4.8%低下し、2か月連続の低下となった。

(資料:県統計課)

図1:前月比(季節調整済指数)

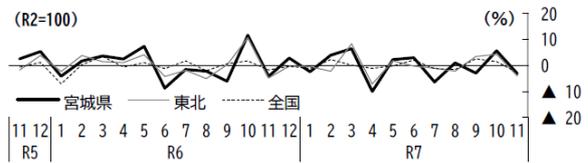
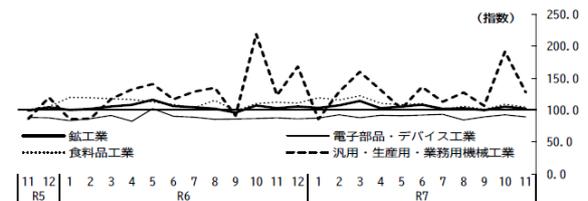


図2:季節調整済指数(宮城県)



## 2 住宅投資

### ○ 新設住宅着工戸数

11月の新設住宅着工戸数は1,098戸で、前年同月比11.9%減少し、2か月ぶりの減少となった(図3、4)。

利用別に前年同月比をみると、持家は15.4%減少し、8か月連続の減少となった。

貸家は7.0%減少し、8か月連続の減少となった。

分譲住宅は20.9%減少し、2か月ぶりの減少となった。

(資料:国土交通省)

図3:前年同月比

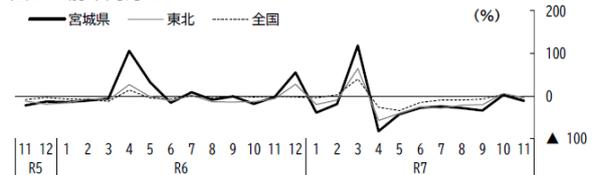
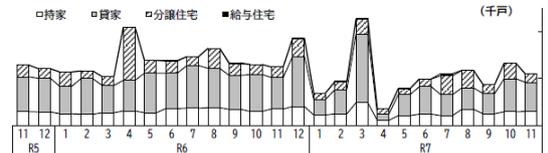


図4:戸数(宮城県)



## 3 公共投資

### ○ 公共工事請負金額

12月の公共工事請負金額は142億21百万円で、前年同月比9.4%増加し、3か月連続の増加となった(図5、6)。

発注者別に前年同月比をみると、国は131.0%増加し、2か月連続の増加となった。都道府県は29.0%減少し、2か月連続の減少となった。市町村は53.1%増加し、3か月連続の増加となった。その他\*(独立行政法人等、地方公社、その他)は31.8%減少し、2か月ぶりの減少となった。

※「その他」は、県が算出。

(資料:東日本建設業保証(株))

図5:前年同月比

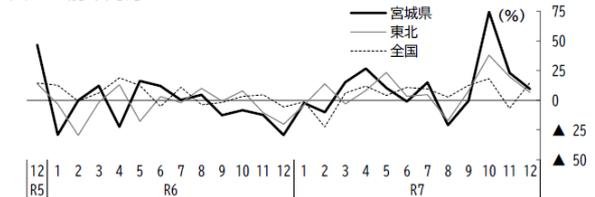
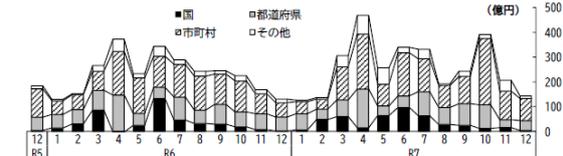


図6:金額(宮城県)



## 4 個人消費

### (1) 百貨店・スーパー販売額

11月の百貨店・スーパー販売額は357億円で、全店舗比較では前年同月比2.1%増加し、11か月連続の増加となった(図7、8)。既存店比較は0.2%増加し、2か月連続の増加となった。

(資料:経済産業省)

図7:前年同月比(全店舗、百貨店・スーパー計)

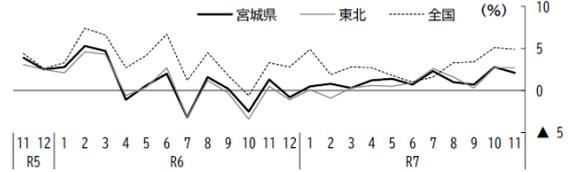
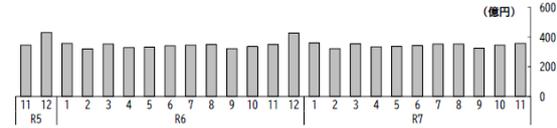


図8:金額(宮城県)



### (2) コンビニエンスストア販売額

11月のコンビニエンスストア販売額は206億円で、前年同月比3.9%増加し、13か月連続の増加となった(図9、10)。

(資料:経済産業省)

図9:前年同月比

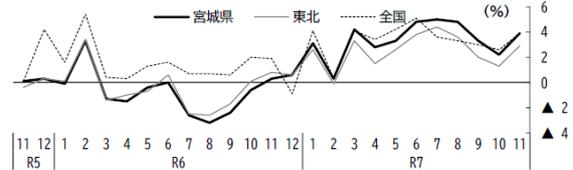
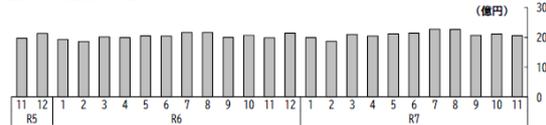


図10:金額(宮城県)



### (3) 家電大型専門店販売額

11月の家電大型専門店販売額は63億円で、前年同月比7.9%増加し、7か月連続の増加となった(図11、12)。

(資料:経済産業省)

図11:前年同月比

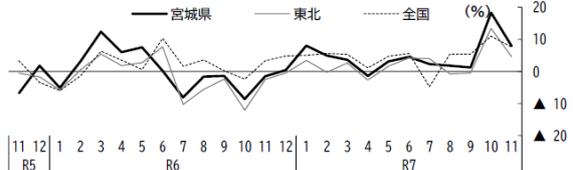
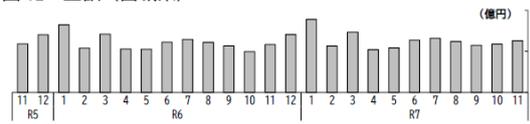


図12:金額(宮城県)



### (4) ドラッグストア販売額

11月のドラッグストア販売額は173億円で、前年同月比13.8%増加し、56か月連続の増加となった(図13、14)。

(資料:経済産業省)

図13:前年同月比

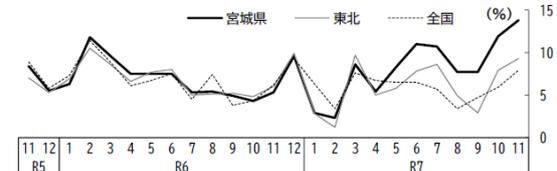
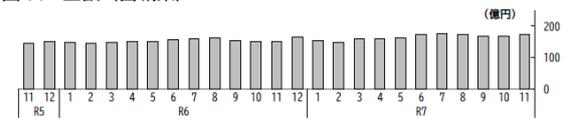


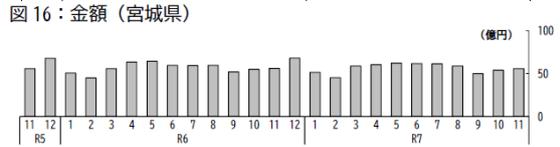
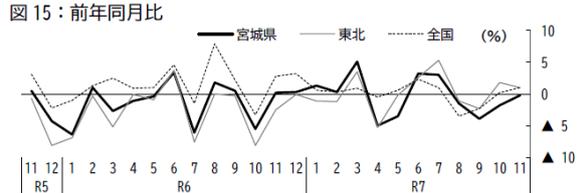
図14:金額(宮城県)



### (5) ホームセンター販売額

11月のホームセンター販売額は56億円で、前年同月比0.2%減少し、4か月連続の減少となった(図15、16)。

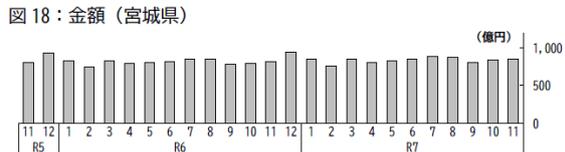
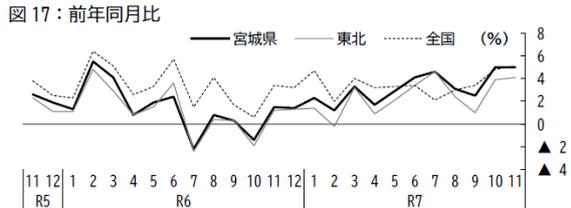
(資料:経済産業省)



### (6) 百貨店・スーパー及びコンビニエンスストア、専門量販店販売額計(参考値※)

11月の百貨店・スーパー及びコンビニエンスストア、専門量販店販売額計(参考値)は855億円で、前年同月比5.0%増加し、13か月連続の増加となった(図17、18)。

※4(1)~(5)各公表値(端数調整済)を県が合算。

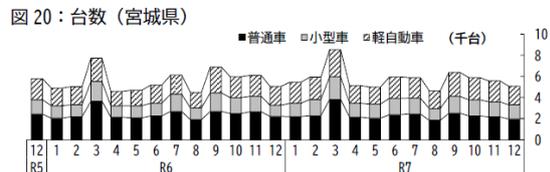
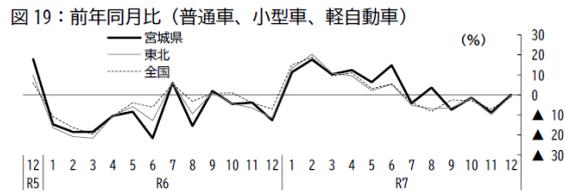


### (7) 乗用車新車登録及び届出台数

12月の乗用車新車登録及び届出台数(普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車の合計)は5,066台で、前年同月比0.2%増加し、4か月ぶりの増加となった(図19、20)。

車種別に前年同月比をみると、普通車は11.7%減少し、6か月連続の減少となった。小型車は27.9%増加し、2か月ぶりの増加となった。軽自動車は1.5%減少し、2か月連続の減少となった。

(資料:東北運輸局、全国軽自動車協会連合会)

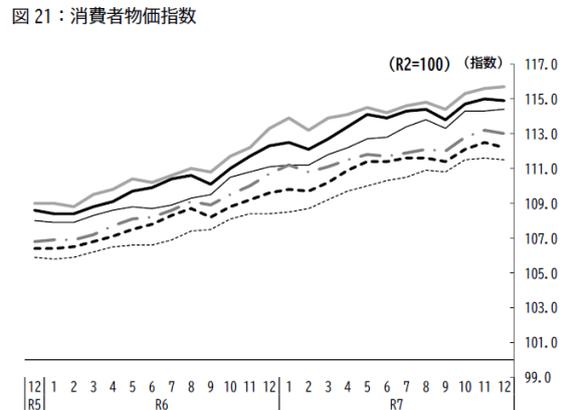


### (8) 物価

12月の仙台市消費者物価指数を前月比で見ると、生鮮食品を除く総合指数(令和2年=100)は114.9で、前月比0.0%低下した。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数(同)は114.4で、前月比0.1%上昇した。総合指数(同)は115.7で、前月比0.1%上昇した。(図21)。

前年同月比で見ると、生鮮食品を除く総合指数(同)は2.3%上昇し、54か月連続の上昇となった。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数(同)は2.9%上昇し、45か月連続の上昇となった。総合指数(同)は2.1%上昇し、52か月連続の上昇となった。

(資料:県統計課)



- 仙台市 (生鮮食品を除く)
- 仙台市 (生鮮食品及びエネルギーを除く)
- 仙台市 (総合指数)
- - - 全国 (生鮮食品を除く)
- ..... 全国 (生鮮食品及びエネルギーを除く)
- · - 全国 (総合指数)

## 5 雇 用

### (1) 求人倍率

11月の有効求人倍率(季節調整値、新規学卒者除きパートタイム含む)は1.15倍で、前月を0.05ポイント上回り、8か月ぶりの上昇となった(図22)。新規求人倍率(同)は2.06倍で、前月を0.20ポイント上回り、2か月ぶりの上昇となった(図23)。

有効求人数及び新規求人数(原数値、新規学卒者除きパートタイム含む)は、有効は前年同月比8.3%減少し30か月連続の減少となった。新規は前年同月比4.3%減少し、26か月連続の減少となった。

新規求人数(原数値・前年同月比)を産業別にみると、「医療、福祉」、「公務・その他」、「学術研究、専門・技術サービス業」などで増加となり、「サービス業」、「建設業」、「生活関連サービス業、娯楽業」などで減少となった。

(資料:宮城労働局)

図22:有効求人倍率(季節調整済)

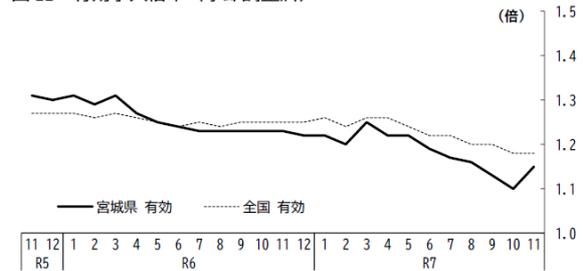
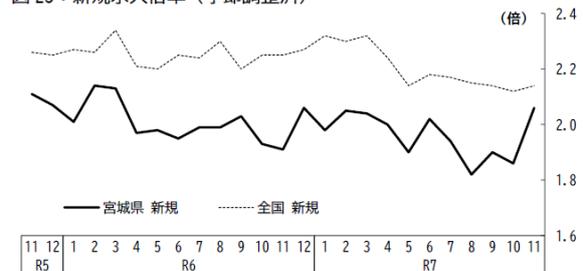


図23:新規求人倍率(季節調整済)



### (2) 所定外労働時間

11月の所定外労働時間(製造業、事業所規模30人以上、1人平均月間)は15.8時間で、前年同月(指数、令和2年=100)と同水準となった(図24、25)。

(資料:県統計課)

図24:前年同月比(製造業・30人以上、指数(R2=100))

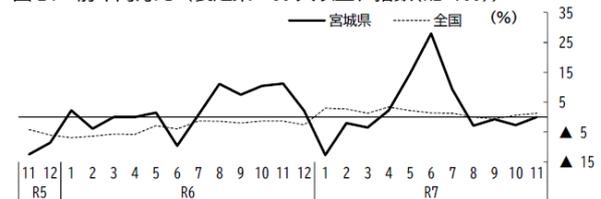
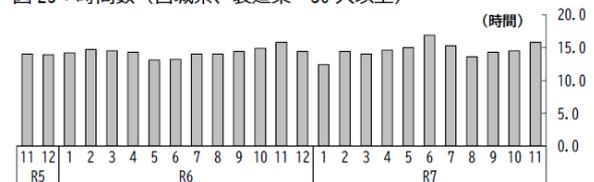


図25:時間数(宮城県、製造業・30人以上)



### (3) 実質賃金指数

11月の実質賃金指数(令和2年=100、現金給与総額、製造業、事業所規模30人以上)は93.4で、前年同月比が0.2%上昇し、4か月連続の上昇となった(図26、27)。

(資料:県統計課)

図26:前年同月比(製造業・30人以上、指数(R2=100))

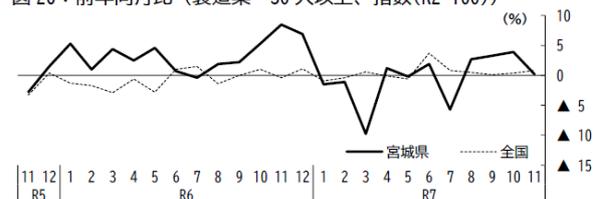
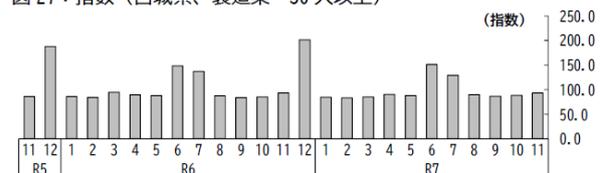


図27:指数(宮城県、製造業・30人以上)



#### (4) 雇用保険受給者実人員

11月の雇用保険受給者実人員は8,367人で、前年同月比5.2%増加し、6か月連続の増加となった(図28、29)。

(資料:宮城労働局)

図28:前年同月比

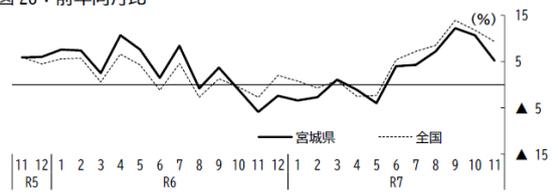
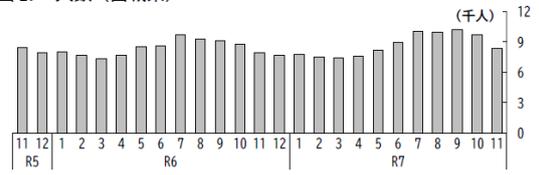


図29:人数(宮城県)



## 6 企業倒産

12月の企業倒産(負債総額1,000万円以上)は11件で、前年同月比37.5%増加し、2か月連続の増加となった(図30)。負債総額は10億62百万円で、前年同月比85.0%増加し、4か月連続の増加となった(図31)。

大型倒産(負債総額10億円以上)は発生しなかった。

不況型倒産(販売不振、売掛金回収困難、既往のシワ寄せ(赤字累積))の件数は10件となり、全体に占める構成比は90.9%となった。

(資料:㈱東京商工リサーチ)

図30: 前年同月比(件数)

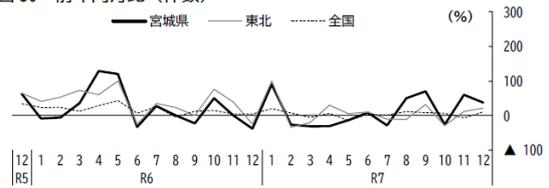
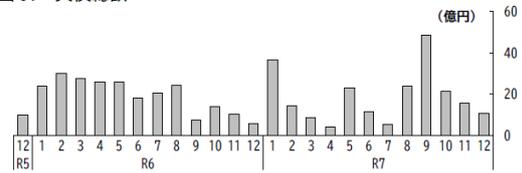
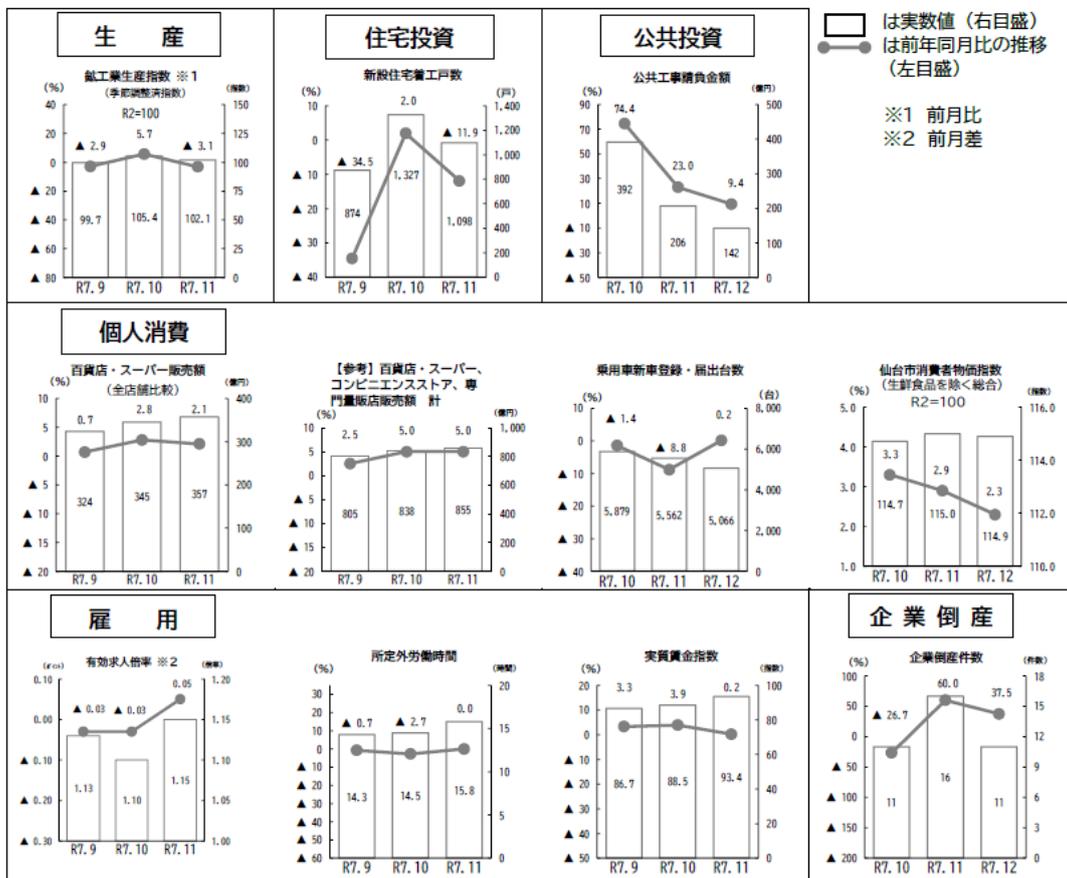


図31: 負債総額



### 直近3か月の経済動向(前年同月比の動き)



## II. 全国・東北等の景況

### 1. 全国の景況

①月例経済報告（内閣府） 令和8年1月22日

|      | 12月月例                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1月月例                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基調判断 | <p>景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。</p> <p>先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。加えて、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意が必要がある。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <p>景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。</p> <p>先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待される。ただし、今後の物価動向や米国の通商政策をめぐる動向などの景気を下押しするリスクに留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意が必要がある。</p>                                                                                                                                                                                                                       |
| 政策態度 | <p>政府は、「経済あつての財政」を基本とし、「責任ある積極財政」の考え方の下、戦略的に財政出動を行うことで「強い経済」を構築する。</p> <p>今の国民の暮らしを守る物価高対策を早急に講じるとともに、日本経済の強さを取り戻すため、生活の安全保障・物価高への対応、危機管理投資・成長投資による強い経済の実現、防衛力と外交力の強化を柱とする「強い経済」を実現する総合経済対策～日本と日本人の底力で不安を希望に変える～」（11月21日閣議決定）及びその裏付けとなる令和7年度補正予算を速やかに執行する。また、「令和8年度予算編成の基本方針」（12月9日閣議決定）や今後策定する「令和8年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」も踏まえ、令和8年度政府予算案を取りまとめる。</p> <p>日本銀行は、12月19日、無担保コールレート（オーバーナイト物）を0.75%程度で推移するよう促すことを決定した。</p> <p>政府と日本銀行は、引き続き緊密に連携し、経済・物価動向に応じて機動的な政策運営を行っていく。</p> <p>日本銀行には、経済・物価・金融情勢に応じて適切な金融政策運営を行うことにより、賃金と物価の好循環を確認しつつ、2%の物価安定目標を持続的・安定的に実現することを期待する。</p> | <p>政府は、「経済あつての財政」を基本とし、「責任ある積極財政」の考え方の下、戦略的に財政出動を行うことで「強い経済」を構築する。</p> <p>今の国民の暮らしを守る物価高対策を早急に講じるとともに、日本経済の強さを取り戻すため、生活の安全保障・物価高への対応、危機管理投資・成長投資による強い経済の実現、防衛力と外交力の強化を柱とする「強い経済」を実現する総合経済対策～日本と日本人の底力で不安を希望に変える～」（11月21日閣議決定）及びその裏付けとなる令和7年度補正予算を速やかに執行する。</p> <p>政府と日本銀行は、引き続き緊密に連携し、経済・物価動向に応じて機動的な政策運営を行っていく。</p> <p>日本銀行には、経済・物価・金融情勢に応じて適切な金融政策運営を行うことにより、賃金と物価の好循環を確認しつつ、2%の物価安定目標を持続的・安定的に実現することを期待する。</p> |

|           | 12月月例                                    | 1月月例                                     |
|-----------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 個人消費      | 持ち直しの動きがみられる                             | 持ち直しの動きがみられる                             |
| 設備投資      | 緩やかに持ち直している                              | 緩やかに持ち直している                              |
| 住宅建設      | 弱含んでいる                                   | 弱含んでいる                                   |
| 公共投資      | 底堅く推移している                                | 底堅く推移している                                |
| 輸出        | おおむね横ばいとなっている                            | おおむね横ばいとなっている                            |
| 輸入        | おおむね横ばいとなっている                            | おおむね横ばいとなっている                            |
| 貿易・サービス収支 | 赤字となっている                                 | おおむね均衡している                               |
| 生産        | 横ばいとなっている                                | 横ばいとなっている                                |
| 企業収益      | 米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられる中で、改善に足踏みがみられる | 米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられる中で、改善に足踏みがみられる |
| 業況判断      | おおむね横ばいとなっている                            | おおむね横ばいとなっている                            |
| 倒産件数      | 増加がみられる                                  | 増加がみられる                                  |
| 雇用情勢      | 改善の動きがみられる                               | 改善の動きがみられる                               |
| 国内企業物価    | このところ緩やかに上昇している                          | 緩やかに上昇している                               |
| 消費者物価     | 上昇している                                   | 上昇している                                   |

②経済・物価情勢の展望－展望レポート－ 基本的見解（日本銀行）令和8年1月

先行きのわが国経済を展望すると、各国の通商政策等の影響を受けつつも、海外経済が成長経路に復していくも  
とで、政府の経済対策や緩やかな金融環境などにも支えられて、所得から支出への前向きな循環メカニズムが徐々  
に強まることから、緩やかな成長を続けると考えられる。

物価の先行きを展望すると、消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、米などの食料品価格上昇の影響が減衰し  
ていくもとで、政府による物価高対策の効果もあり、本年前半には、2%を下回る水準までプラス幅を縮小してい  
くと考えられる。もっとも、この間も、賃金と物価が相互に参照しながら緩やかに上昇していくメカニズムは維持  
され、消費者物価の基調的な上昇率は、緩やかな上昇が続くと見込まれる。その後は、景気の改善が続くもとで人  
手不足感が強まり、中長期的な予想物価上昇率が上昇していくことから、基調的な物価上昇率と消費者物価（除く  
生鮮食品）の上昇率はともに徐々に高まっていくと予想され、見通し期間後半には「物価安定の目標」と概ね整合  
的な水準で推移すると考えられる。

前回の見通しと比べると、成長率については、政府の経済対策の効果などから、2025年度と2026年度が幾分  
上振れている一方、2027年度は幾分下振れている。消費者物価（除く生鮮食品）の前年比については、概ね不変  
である。

リスク要因としては、各国の通商政策等の影響を受けた海外の経済・物価動向、企業の賃金・価格設定行動、金  
融・為替市場の動向などがあり、それらのわが国経済・物価への影響については、十分注視する必要がある。

リスクバランスをみると、経済・物価のいずれの見通しについても、概ね上下にバランスしている。

## 2. 東北の景況

### ①管内（東北6県）の経済動向（東北経済産業局） 令和8年1月27日

緩やかに持ち直している

鉱工業生産：持ち直しの動きがみられる

個人消費：足踏み状態となっている

住宅着工：2か月ぶりに前年同月を下回った

公共投資：3か月連続で前年同月を上回った

設備投資：前年度を上回る見込み

雇用：有効求人倍率は前月と比べ上昇

企業倒産：倒産件数は前年同月を上回った

### ②経済の動き（日本銀行仙台支店） 令和8年1月

東北地域の景気は、持ち直している。最終需要の動向をみると、公共投資は、持ち直している。設備投資は、  
増加している。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、持ち  
直している。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

## 3. 宮城県の景況

### ①県内経済の基調判断（七十七リサーチ&コンサルティング（株）） 令和8年1月

#### 【総括判断】

最近の県内景況をみると、総じて足踏みしている。

#### 【概況】

生産は一進一退の動きとなっている。需要面の動きをみると、公共投資は持ち直しの動きとなっている。住宅投資は下げ止まりつつある。個人消費は一部に持ち直しの動きもみられるが、総じて弱含んでいる。雇用情勢は弱さがうかがわれるものとなっている。

### Ⅲ. 宮城県圏内の消費購買動向

(令和3年消費購買動向調査報告書より引用)

※本調査は令和3年度を以て終了

#### 宮城県の圏（消費購買動向調査報告書）の概要について

##### 1 調査の目的

- 県内における圏の変化や消費購買動向の実態を明らかにし、地域商業の振興に活用する。
- 昭和53年の第1回調査から3年おきに実施（前回調査：平成30年度）。今回で15回目。

##### 2 調査の概要

- (1) 調査実施時期 令和3年10月中旬
- (2) 調査方法 県内公立小学校3年生児童の保護者を対象としたアンケート調査
- (3) 調査数 有効回答数9,574／調査票配布数11,926（有効回答率80.3%）

##### 《本調査における用語の定義》

- ・ 商 圏 = 圏中心市区町村へ買回品の購入に訪れる人々の範囲。  
〔買回品の購買先支持率を基準に地元購買率が30%以上で、かつ吸引率が15%以上の市区町村を有する場合、「圏が形成されている」と定義。〕
  - ・ 圏中心市区町村 = 地元及び周辺の市区町村から多くの人が買回品の購入に訪れる市区町村。圏の中心。
  - ・ 吸引人口 = 圏人口のうち、圏中心市区町村へ買回品の購入に訪れる人数。
  - ・ 買回品 = 衣料品、靴・バッグ・アクセサリ、スポーツ・レジャー用品、書籍・文房具、玩具・ゲーム、家具・インテリア用品、家電・パソコン類、贈答品。
- ※調査分析は、過去の調査との比較のため、平成14年以前の旧市区町村単位となっている。

##### 3 調査結果の概要

###### (1) 圏の変化

###### ○圏範囲の縮小による超広域型圏の消滅

| 圏類型  | 今回（R3）調査                       | 前回（H30）調査                 |
|------|--------------------------------|---------------------------|
| 超広域型 |                                | 仙台青葉                      |
| 広域型  | 仙台青葉、仙台宮城野、仙台太白、仙台泉、旧石巻、名取、旧古川 | 仙台宮城野、仙台太白、仙台泉、旧石巻、名取、旧古川 |
| 地域型  | 旧気仙沼、多賀城、旧迫、大河原、利府、富谷          | 旧気仙沼、多賀城、旧迫、大河原、利府、富谷     |
| 地区型  | 旧築館                            | 旧築館                       |
| 合計   | 14 圏                           | 14 圏                      |

- 超広域型：広域型圏の中でも広域行政圏を超えて広く県域を範囲とする圏。
- 広域型：圏範囲が主として広域行政圏的広がりを持ち、吸引人口が10万人以上。
- 地域型：圏範囲が主として広域行政圏に準ずるか若しくはその一部に相当する広がりを持ち、吸引人口が2万人以上。
- 地区型：上記以外の規模の小さな圏。

○仙台市中心部（駅前～一番町）の吸引人口の減少

|         | H20     | H24     | H27    | H30     | R3     |
|---------|---------|---------|--------|---------|--------|
| 構成市区町村数 | 18      | 14      | 8      | 16      | 5      |
| 吸引人口（人） | 134,404 | 119,352 | 73,927 | 101,854 | 60,216 |

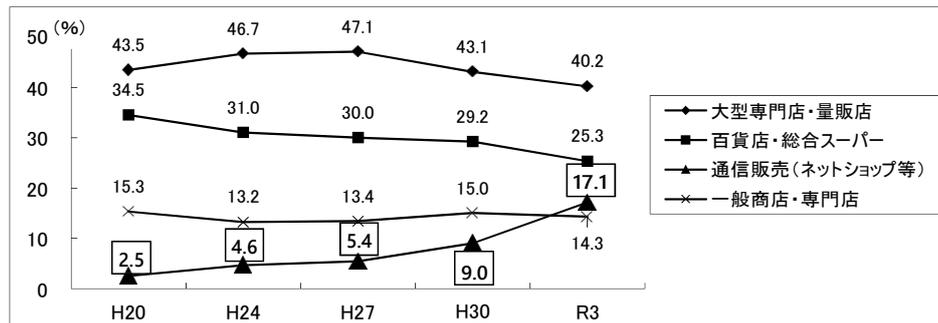
○吸引人口の増減状況（前回比較5%以上の変化） ※[ ]内は前回調査からの増減率

- ・増加した商圈・・・【3商圈】利府[+17.5%] 旧築館[+13.0%] 多賀城[+9.8%]
- ・減少した商圈・・・【5商圈】仙台青葉[-19.1%] 仙台宮城野[-11.4%] 仙台泉[-11.2%]  
仙台太白[-10.6%] 旧石巻[-7.2%]

(2) 消費者の買物動向

○通信販売（ネットショップ等）の大幅増

- ・買物先店舗の形態別支持率（買回品）



○増加に転じた地元購買率

|           | H20   | H24   | H27   | H30   | R3    |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 地元購買率（平均） | 18.6% | 16.9% | 16.3% | 15.9% | 16.7% |

- ・主な増加した市区町村 ※[ ]内は前回調査からの増減  
 利府町 62.8%[+11.3] 旧迫町 69.3%[+8.0] 旧築館町 39.0%[+6.5]  
 涌谷町 22.9%[+6.4] 亘理町 19.1%[+6.3] 名取市 71.7%[+5.2]

(3) 地元商店・商店街に求める役割

○消費者は、生活を支える役割を期待

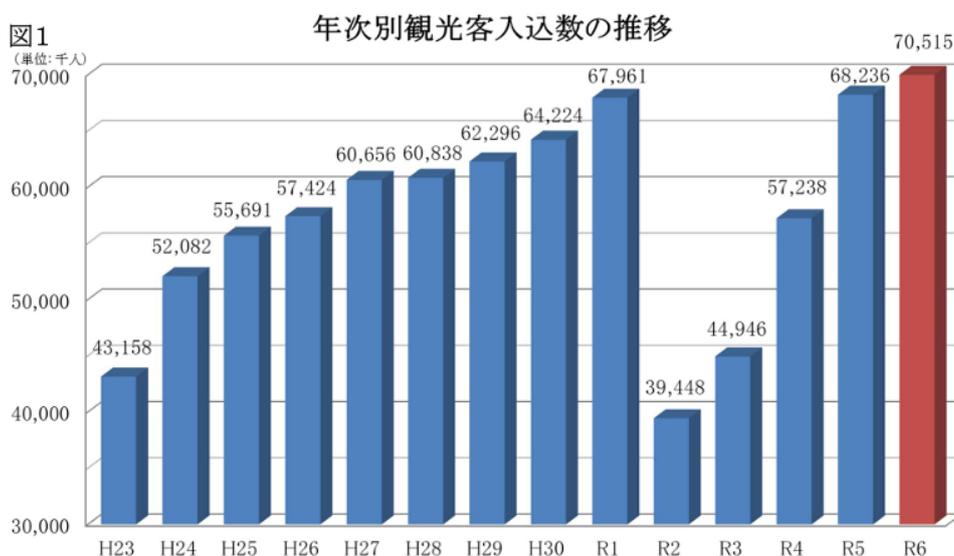
- ・日用品・食料品の販売 29.6%
- ・外食サービスの提供 14.8%
- ・まちなにぎわい創出の担い手 13.2%
- ・オリジナル商品・限定品等の販売 11.3%
- ・地域コミュニティの拠点 11.0%

## IV. 地域内の観光動向

(令和6年度観光統計概要より引用)

### 1. 観光客入込数

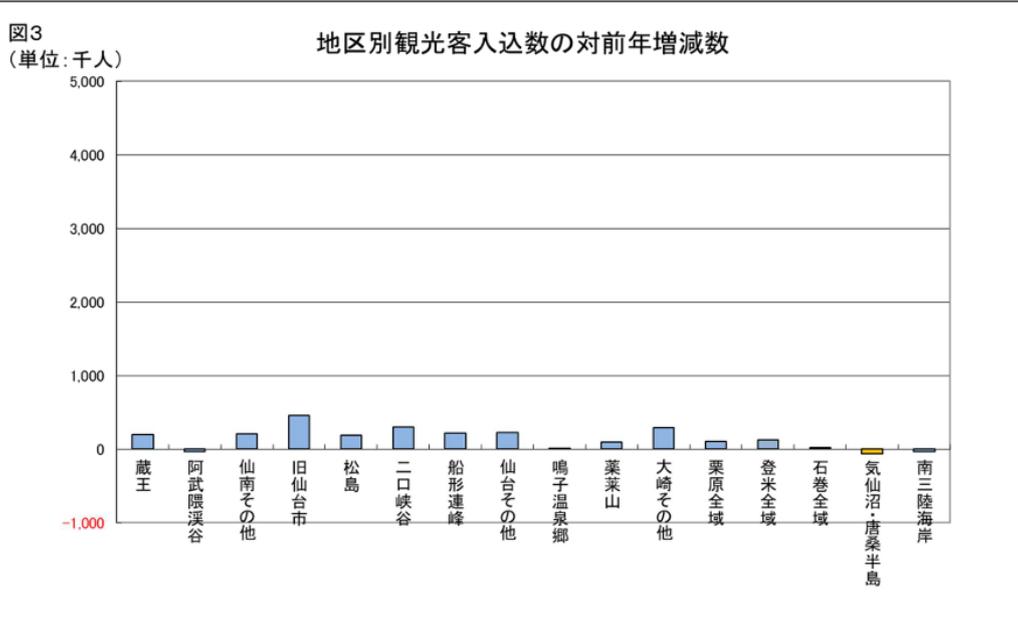
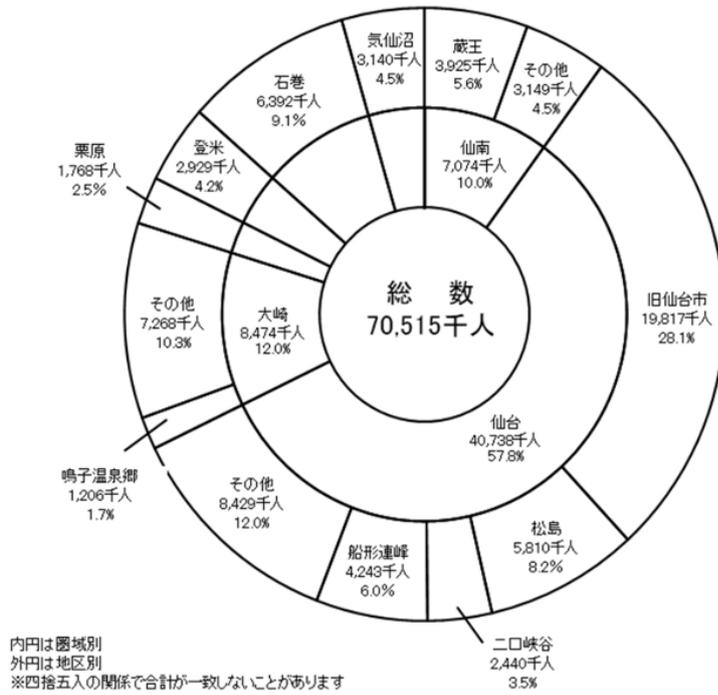
県全体の観光客入込数は70,515千人で、前年に比べ2,279千人の増加(+3.3%)となり、前年を上回り、二年連続で過去最高の観光客入込数を記録しました。前年から増加した要因としては、「東北絆まつり2024」などの大規模イベントが開催されたことに加え、「あ・ら・伊達な道の駅」、「松島海岸」などへの入込客の増加や、令和6年11月にオープンした「道の駅東松島」が、全体の入込数を押し上げました。



### 2. 圏域別観光客入込数

仙南圏域では、観光客入込数が7,074千人で前年に比べ372千人、5.6%増加しました。遠刈田温泉やおおがわら桜まつりなどで入込客が増加しました。仙台圏域では、観光客入込数が40,738千人で前年に比べ1,378千人、3.5%増加しました。「東北絆まつり2024」や「Pokémon GO Fes2024」の大規模なイベントが開催されたことに伴い、仙台城址などの周辺施設への入込客が増加しました。大崎圏域では、観光客入込数が8,474千人で前年に比べ380千人、4.7%増加しました。「あ・ら・伊達な道の駅」や道の駅「おおさき」などで入込客が増加しました。栗原圏域では、観光客入込数が1,768千人で前年に比べ105千人、6.3%増加しました。圏域の主要観光地点である道の駅「路田里はなやま」や金成温泉金成延年閣などへの入込客の増加があったことによるものと考えられます。登米圏域では、観光客入込数が2,929千人で前年に比べ122千人、4.4%増加しました。平筒沼ふれあい公園や道の駅「三滝堂」などで入込客数が増加しました。石巻圏域では、観光客入込数が6,392千人で前年に比べ24千人、0.4%増加しました。道の駅「東松島」のオープンや、航空祭などで入込客が増加しました。気仙沼圏域では、観光客入込数が3,140千人で前年に比べ102千人、3.1%減少しました。海の家で入込客が増加した一方、南三陸さんさん商店街などで入込客が減少しました。

図2 圏域別観光客入込数



注) 蔵王地区 (白石市、蔵王町、七ヶ宿町、川崎町)、阿武隈溪谷地区 (丸森町)、松島地区 (松島町、塩竈市、七ヶ浜町)、二口峡谷地区 (旧秋保町、旧宮城町作並・奥新川)、船形連峰地区 (旧宮城町定義、旧泉市、大和町)、鳴子温泉郷地区 (旧鳴子町)、葉菜山地区 (加美町、色麻町)、気仙沼・唐桑半島地区 (気仙沼市)、南三陸海岸地区 (旧本吉町、南三陸町)

### 3. 季節別観光客入込数

季節別の観光客入込数は、「春季」（４～６月）は18,554千人で前年より740千人、4.2%の増加、「夏季」（７～８月）では14,484千人で前年より449千人、3.0%の減少、「秋季」（９～11月）では17,747千人で前年より1,127千人、6.8%の増加、「冬季」（１～３月、12月）では19,730千人で861千人、4.6%の増加となりました。（図４、表２）

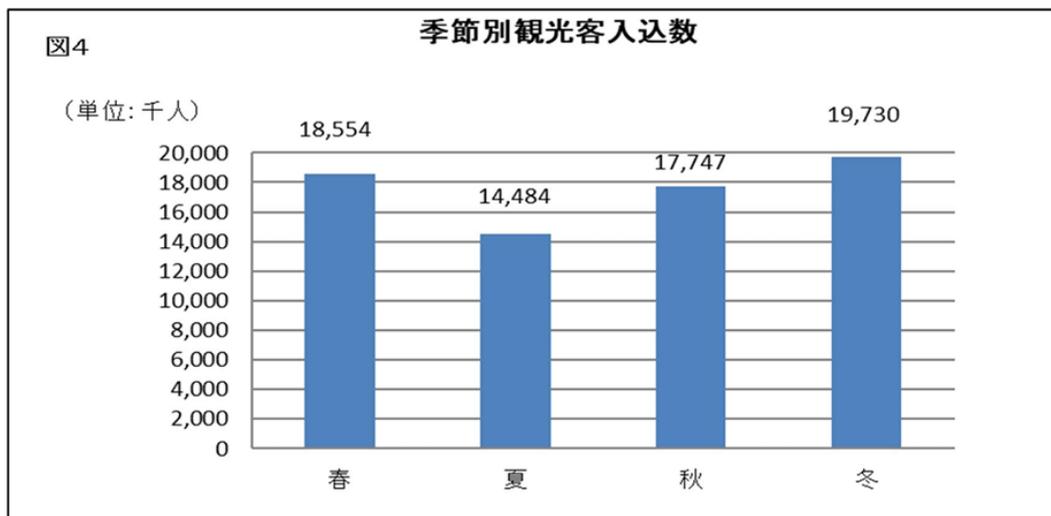


表2 季節別観光客入込数 (単位: 人、%)

| 圏域           | 地区       | 春<br>(4、5、6月)     | 夏<br>(7、8月)       | 秋<br>(9、10、11月)   | 冬<br>(1、2、3、12月)  |
|--------------|----------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 仙南           | 蔵王       | 1,257,145 (32.0)  | 689,500 (17.6)    | 1,137,063 (29.0)  | 841,733 (21.4)    |
|              | 阿武隈溪谷    | 174,652 (32.7)    | 99,598 (18.7)     | 127,217 (23.8)    | 132,096 (24.8)    |
|              | その他の地域   | 1,179,958 (45.1)  | 341,033 (13.0)    | 590,342 (22.6)    | 503,910 (19.3)    |
|              | 小計       | 2,611,755 (36.9)  | 1,130,131 (16.0)  | 1,854,622 (26.2)  | 1,477,739 (20.9)  |
| 仙台           | 旧仙台市     | 5,249,721 (26.5)  | 4,922,699 (24.8)  | 4,393,918 (22.2)  | 5,250,772 (26.5)  |
|              | 松島       | 1,189,762 (20.5)  | 1,152,642 (19.8)  | 1,503,020 (25.9)  | 1,964,126 (33.8)  |
|              | 二口峡谷     | 563,580 (23.1)    | 454,111 (18.6)    | 694,516 (28.5)    | 728,223 (29.8)    |
|              | 船形連峰     | 774,068 (18.2)    | 602,301 (14.2)    | 968,306 (22.8)    | 1,897,838 (44.7)  |
|              | その他の地域   | 2,270,638 (26.9)  | 1,463,378 (17.4)  | 2,042,268 (24.2)  | 2,652,284 (31.5)  |
|              | 小計       | 10,047,769 (24.7) | 8,595,131 (21.1)  | 9,602,028 (23.6)  | 12,493,243 (30.7) |
| 大崎           | 鳴子温泉郷    | 287,727 (23.9)    | 187,107 (15.5)    | 449,831 (37.3)    | 281,335 (23.3)    |
|              | 薬菜山      | 443,461 (30.9)    | 226,338 (15.8)    | 457,469 (31.8)    | 309,362 (21.5)    |
|              | その他の地域   | 1,483,984 (25.4)  | 1,118,903 (19.2)  | 1,699,215 (29.1)  | 1,529,076 (26.2)  |
|              | 小計       | 2,215,172 (26.1)  | 1,532,348 (18.1)  | 2,606,515 (30.8)  | 2,119,773 (25.0)  |
| 栗原           | 全域       | 412,618 (23.3)    | 432,279 (24.5)    | 539,603 (30.5)    | 383,097 (21.7)    |
| 登米           | 全域       | 787,120 (26.9)    | 585,347 (20.0)    | 714,673 (24.4)    | 842,310 (28.8)    |
| 石巻           | 全域       | 1,597,656 (25.0)  | 1,431,855 (22.4)  | 1,641,139 (25.7)  | 1,720,940 (26.9)  |
| 気仙沼          | 気仙沼・普賢半島 | 395,850 (24.7)    | 427,925 (26.7)    | 415,786 (25.9)    | 363,892 (22.7)    |
|              | 南三陸海岸    | 486,116 (31.6)    | 348,838 (22.7)    | 372,880 (24.3)    | 329,032 (21.4)    |
|              | 小計       | 881,966 (28.1)    | 776,763 (24.7)    | 788,666 (25.1)    | 692,924 (22.1)    |
| 合計           |          | 18,554,056 (26.3) | 14,483,854 (20.5) | 17,747,246 (25.2) | 19,730,026 (28.0) |
| 対前年増減数 (前年比) |          | 739,681 (104.2)   | △ 449,538 (97.0)  | 1,127,599 (106.8) | 861,281 (104.6)   |

#### 4. 分類別観光客入込数

観光地点を自然、文化・歴史、産業観光などの8つに分類して、観光客入込数の構成比で見ると、多い順に、「買物」が31.5%、「イベント」が17.7%、「文化・歴史」が13.4%となっています。また、前年に比べ増加率が大きい順に、「温泉」+12.0%、「文化歴史」+7.2%、「イベント」+5.9%となっています。

(表3)

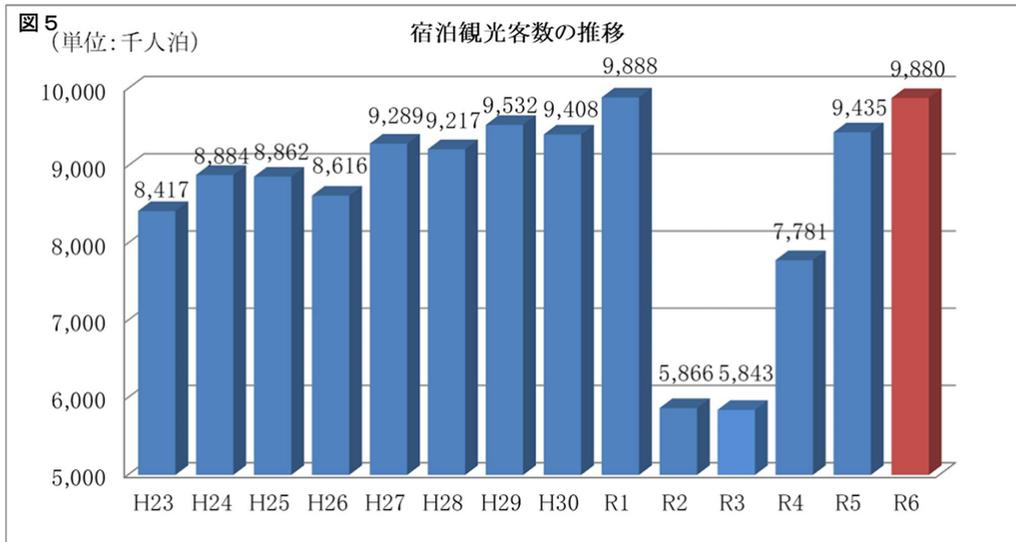
表3 分類別観光客入込数

(単位：上段 千人、下段 %)

| 圏域                  | 自然             | 文化・歴史           | 産業観光            | スポーツ施設等         | 温泉              | 買物               | 行事・催事           | イベント             | 合計<br>(構成比)       |
|---------------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|-----------------|------------------|-------------------|
| 仙南                  | 612<br>(8.7)   | 614<br>(8.7)    | 113<br>(1.6)    | 1,481<br>(20.9) | 1,312<br>(18.5) | 2,267<br>(32.0)  | 174<br>(2.5)    | 501<br>(7.1)     | 7,074<br>(100.0)  |
| 仙台                  | 3,458<br>(8.5) | 7,301<br>(17.9) | 2,807<br>(6.9)  | 3,834<br>(9.4)  | 2,191<br>(5.4)  | 9,103<br>(22.3)  | 533<br>(1.3)    | 11,510<br>(28.3) | 40,738<br>(100.0) |
| 大崎                  | 451<br>(5.3)   | 583<br>(6.9)    | 185<br>(2.2)    | 340<br>(4.0)    | 1,603<br>(18.9) | 4,722<br>(55.7)  | 404<br>(4.8)    | 186<br>(2.2)     | 8,474<br>(100.0)  |
| 栗原                  | 399<br>(22.6)  | 79<br>(4.5)     | 62<br>(3.5)     | 134<br>(7.6)    | 246<br>(13.9)   | 687<br>(38.9)    | 160<br>(9.0)    | 1<br>(0.1)       | 1,768<br>(100.0)  |
| 登米                  | 75<br>(2.6)    | 178<br>(6.1)    | 0<br>(0.0)      | 529<br>(18.1)   | 70<br>(2.4)     | 1,928<br>(65.8)  | 150<br>(5.1)    | 0<br>(0.0)       | 2,929<br>(100.0)  |
| 石巻                  | 450<br>(7.0)   | 487<br>(7.6)    | 1,060<br>(16.6) | 516<br>(8.1)    | 1,521<br>(23.8) | 1,761<br>(27.6)  | 458<br>(7.2)    | 137<br>(2.2)     | 6,392<br>(100.0)  |
| 気仙沼                 | 566<br>(18.0)  | 191<br>(6.1)    | 122<br>(3.9)    | 81<br>(2.6)     | 342<br>(10.9)   | 1,714<br>(54.6)  | 0<br>(0.0)      | 126<br>(4.0)     | 3,140<br>(100.0)  |
| 合計                  | 6,011<br>(8.5) | 9,433<br>(13.4) | 4,349<br>(6.2)  | 6,914<br>(9.8)  | 7,285<br>(10.3) | 22,182<br>(31.5) | 1,879<br>(2.7)  | 12,462<br>(17.7) | 70,515<br>(100.0) |
| 対前年<br>増減数<br>(前年比) | 135<br>(102.3) | 637<br>(107.2)  | △ 62<br>(98.6)  | 17<br>(100.2)   | 780<br>(112.0)  | 215<br>(101.0)   | △ 139<br>(93.1) | 696<br>(105.9)   | 2,279<br>(103.3)  |

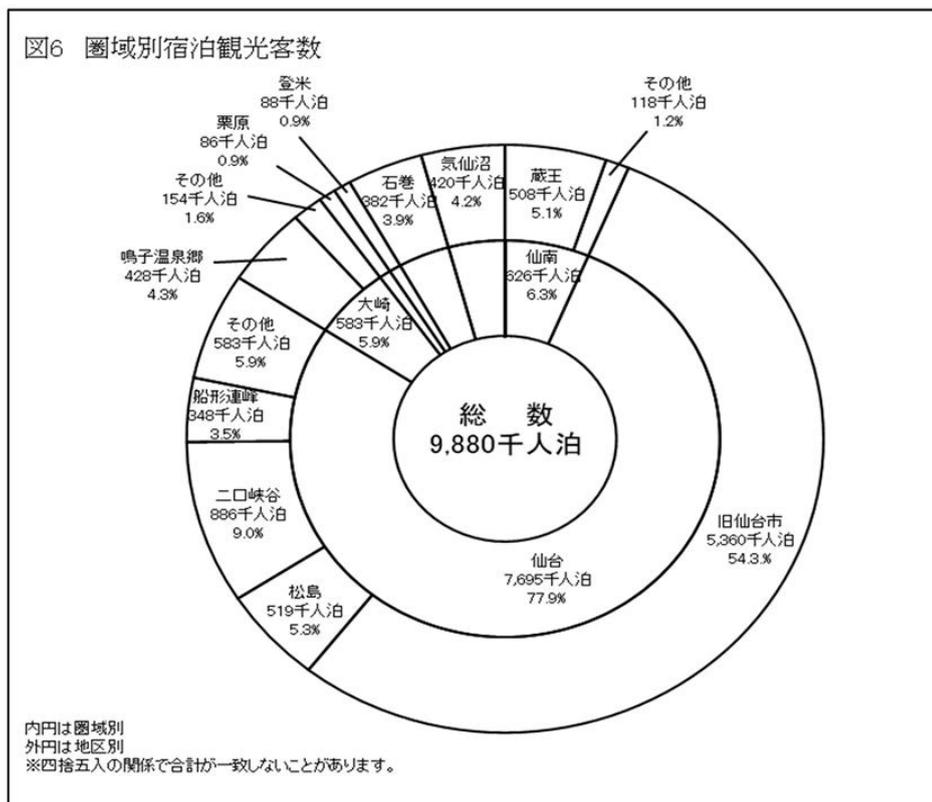
#### 5. 宿泊観光客数

県内全体の宿泊観光客数は9,880 千人泊で、前年に比べ445千人泊の増加(+4.7%)となり、コロナ拡大前の令和元年の水準と同程度に回復しています。(図5)「東北絆まつり2024仙台」や「Pokémon GO Fes2024」などの大規模イベントの開催、訪日外国人宿泊者数の増加等による押し上げ効果もあり、全体として増加傾向にあります。



### 6. 圏域別宿泊観光客数

圏域別割合をみると、宿泊観光客数の多かった順に、仙台圏域77.9%、仙南圏域6.3%、大崎圏域5.9%となっており、全体の約4分の3が仙台圏域に集中しており、特に旧仙台市地区が高い割合を占めています。(図6、図7、表4)



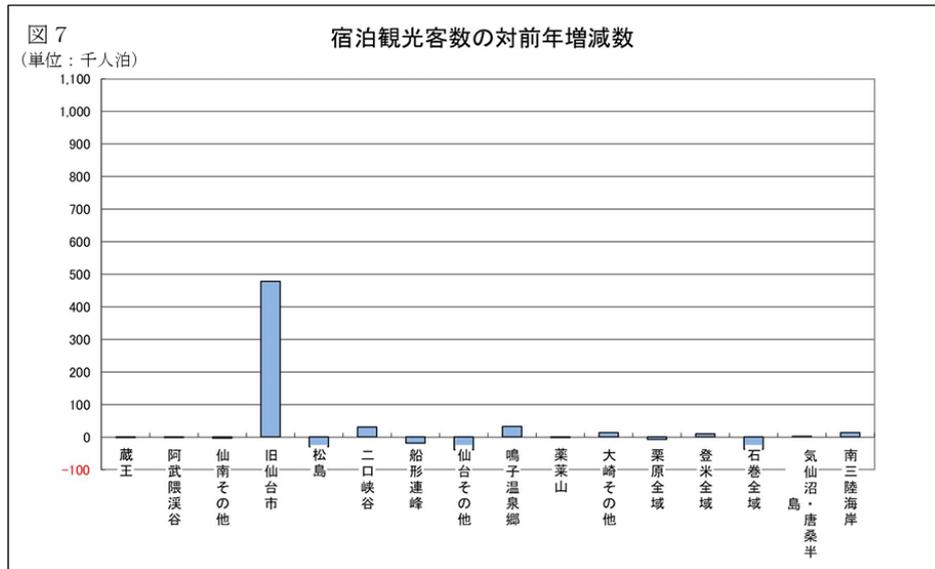


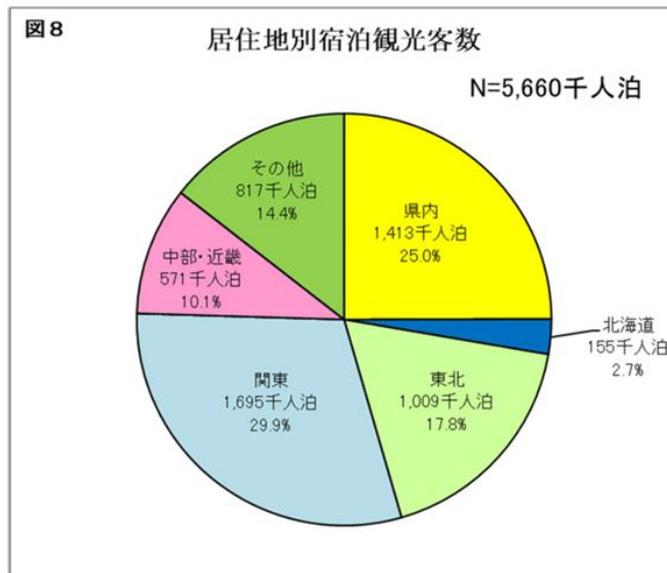
表4 令和6年宿泊観光客数

(単位：人泊)

| 圏域  | 地区       | 令和6年      | 令和5年      | 令和4年      | 令和3年      | 令和2年      | 前年比<br>(R6/R5) | 増減数<br>(R6-R5) |
|-----|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------------|----------------|
| 仙南  | 蔵王       | 508,487   | 509,210   | 424,367   | 323,315   | 313,295   | 99.9%          | △ 723          |
|     | 阿武隈溪谷    | 8,526     | 9,699     | 10,121    | 9,063     | 8,311     | 87.9%          | △ 1,173        |
|     | その他の地域   | 109,285   | 111,844   | 95,212    | 84,731    | 84,339    | 97.7%          | △ 2,559        |
|     | 小計       | 626,298   | 630,753   | 529,700   | 417,109   | 405,945   | 99.3%          | △ 4,455        |
| 仙台  | 旧仙台市     | 5,359,664 | 4,880,439 | 3,801,043 | 2,929,718 | 2,773,625 | 109.8%         | 479,225        |
|     | 松島       | 519,258   | 549,542   | 470,054   | 292,242   | 383,045   | 94.5%          | △ 30,284       |
|     | 二口峡谷     | 885,685   | 854,193   | 744,594   | 521,760   | 643,190   | 103.7%         | 31,492         |
|     | 船形連峰     | 347,603   | 366,632   | 313,427   | 247,022   | 220,961   | 94.8%          | △ 19,029       |
|     | その他の地域   | 582,813   | 622,285   | 584,098   | 358,893   | 329,609   | 93.7%          | △ 39,472       |
|     | 小計       | 7,695,023 | 7,273,091 | 5,913,216 | 4,349,635 | 4,350,430 | 105.8%         | 421,932        |
| 大崎  | 鳴子温泉郷    | 428,200   | 396,200   | 375,900   | 270,600   | 344,200   | 108.1%         | 32,000         |
|     | 薬菜山      | 21,864    | 22,348    | 20,923    | 18,092    | 13,244    | 97.8%          | △ 484          |
|     | その他の地域   | 132,441   | 118,714   | 78,525    | 103,181   | 110,822   | 111.6%         | 13,727         |
|     | 小計       | 582,505   | 537,262   | 475,348   | 391,873   | 468,266   | 108.4%         | 45,243         |
| 栗原  | 全域       | 86,204    | 92,478    | 82,559    | 66,966    | 54,992    | 93.2%          | △ 6,274        |
| 登米  | 全域       | 87,961    | 77,721    | 71,427    | 54,772    | 53,003    | 113.2%         | 10,240         |
| 石巻  | 全域       | 381,821   | 419,154   | 313,355   | 234,419   | 229,721   | 91.1%          | △ 37,333       |
| 気仙沼 | 気仙沼・唐桑半島 | 255,911   | 253,315   | 243,236   | 227,000   | 189,350   | 101.0%         | 2,596          |
|     | 南三陸海岸    | 163,656   | 150,841   | 152,373   | 101,373   | 114,031   | 108.5%         | 12,815         |
|     | 小計       | 419,567   | 404,156   | 395,609   | 328,373   | 303,381   | 103.8%         | 15,411         |
| 合計  |          | 9,879,379 | 9,434,615 | 7,781,214 | 5,843,147 | 5,865,738 | 104.7%         | 444,764        |

## 7. 居住地別宿泊観光客数

宿泊観光客数を居住地別にみると、宿泊観光客数は、居住地不明を除き、関東地方が1,695千人泊（構成比29.9%）と最も多く、次いで宮城県内で1,413千人泊（同25.0%）、東北地方（宮城県を除く）で1,009千人泊（同17.8%）となっており、それらを合計すると、全体の約4分の3を占めています。（図8）



## 8. 主要な行事・イベント等の観光客入込数

県内の主要な行事・イベント等の観光客入込数については、人数の多い順に「SENDAI光のページェント（12月）」、「仙台七夕まつり（8月）」、「仙台・青葉まつり（5月）」となりました。「仙台みちのくYOSAKOIまつり」や「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」は、前年と比べ大きく増加しています。（表5）

表5 主要な行事・イベント等の観光客入込数

| 市町村  | 観光地点                                | R6年入込 | R5年入込 | R4年入込 | 前年比        |              |
|------|-------------------------------------|-------|-------|-------|------------|--------------|
|      |                                     |       |       |       | 増減 (R6-R5) | 対前年比 (R6/R5) |
| 仙台市  | SENDAI光のページェント                      | 2,050 | 2,000 | 1,700 | 50         | 102.5%       |
| 仙台市  | 仙台七夕まつり                             | 2,036 | 2,269 | 2,250 | △ 233      | 89.7%        |
| 仙台市  | 仙台・青葉まつり                            | 933   | 870   | 433   | 63         | 107.2%       |
| 仙台市  | 定禅寺ストリートジャズフェスティバル                  | 700   | 550   | 200   | 150        | 127.3%       |
| 仙台市  | 仙台みちのくYOSAKOIまつり (旧:みちのくYOSAKOIまつり) | 600   | 300   | 250   | 300        | 200.0%       |
| 仙台市  | 東北絆まつり2024仙台                        | 572   | 0     | 0     | 572        | -            |
| 仙台市  | 仙台七夕花火祭                             | 450   | 500   | 450   | △ 50       | 90.0%        |
| 仙台市  | Pokémon GO Fes2024                  | 379   | 0     | 0     | 379        | -            |
| 大河原町 | おおがわら桜まつり                           | 255   | 222   | 0     | 33         | 114.9%       |
| 石巻市  | 石巻川開き祭り                             | 238   | 276   | 129   | △ 38       | 86.2%        |

## 9. 観光消費額・観光による経済効果の推計

令和6年の観光消費額直接効果額（観光庁「共通基準による観光入込客統計」より）は4,527億円になります。また、産業連関表を用いて波及効果等を推計（※）すると、波及効果が1,957億円となり、観光による総合波及効果は6,103億円と見込まれます。（表6、表7）

表6 観光消費額単価・観光消費額

| 区分         | 観光消費額単価 (円/人回) |       |         |       | 観光消費額 (百万円) |         |        |        | 消費額合計<br>(百万円) |
|------------|----------------|-------|---------|-------|-------------|---------|--------|--------|----------------|
|            | 県内             |       | 県外      |       | 県内          |         | 県外     |        |                |
|            | 宿泊             | 日帰り   | 宿泊      | 日帰り   | 宿泊          | 日帰り     | 宿泊     | 日帰り    |                |
| 日本人・観光目的   | 19,005         | 5,070 | 29,980  | 9,114 | 20,090      | 113,807 | 72,125 | 63,968 | 269,990        |
| 日本人・ビジネス目的 | 19,017         | 4,729 | 41,220  | 4,727 | 22,950      | 1,092   | 99,926 | 3,753  | 127,721        |
| 区分         | 観光消費額単価 (円/人回) |       |         |       | 観光消費額 (百万円) |         |        |        | 消費額合計<br>(百万円) |
|            | 観光目的           |       | ビジネス目的  |       | 観光目的        |         | ビジネス目的 |        |                |
|            | 宿泊             | 日帰り   | 宿泊      | 日帰り   | 宿泊          | 日帰り     | 宿泊     | 日帰り    |                |
| 訪日外国人      | 55,775         | -     | 146,761 | -     | 14,184      | -       | 40,808 | -      | 54,992         |
| 合 計        |                |       |         |       |             |         |        |        | 452,702        |

※1 観光庁「共通基準による観光入込客統計」より一部抜粋

※2 県企画部統計課の経済波及効果分析ツールを使用

表7 観光消費額・観光による経済効果

| 区分            | 消費区分       | 観光による総合波及効果 (百万円) |        |         |        |         | 波及倍率   | 雇用誘発数  |
|---------------|------------|-------------------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|
|               |            | 観光による直接効果額        |        |         | 波及効果   |         |        |        |
|               |            | 日帰り客              | 宿泊客    | 計       |        |         |        |        |
| 観光目的<br>県内観光客 | 宿泊費        | 0                 | 6,920  | 6,920   | 3,266  | 10,186  | 147.2% | 942    |
|               | 飲食費        | 20,174            | 2,966  | 23,140  | 10,923 | 34,063  |        | 3,150  |
|               | みやげ代       | 26,988            | 2,430  | 29,418  | 13,886 | 43,304  |        | 4,005  |
|               | 交通費        | 36,910            | 4,571  | 41,480  | 19,580 | 61,061  |        | 5,647  |
|               | 入場・観覧費・その他 | 21,594            | 1,767  | 23,361  | 11,027 | 34,388  |        | 3,180  |
|               | 総額         | 105,666           | 18,653 | 124,319 | 58,683 | 183,002 |        | 16,925 |

| 区分            | 消費区分       | 観光による総合波及効果 (百万円) |        |         |        |         | 波及倍率   | 雇用誘発数  |
|---------------|------------|-------------------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|
|               |            | 観光による直接効果額        |        |         | 波及効果   |         |        |        |
|               |            | 日帰り客              | 宿泊客    | 計       |        |         |        |        |
| 観光目的<br>県外観光客 | 宿泊費        | 0                 | 25,276 | 25,276  | 11,889 | 37,165  | 147.0% | 3,656  |
|               | 飲食費        | 11,538            | 10,833 | 22,371  | 10,522 | 32,893  |        | 3,236  |
|               | みやげ代       | 15,434            | 8,876  | 24,311  | 11,435 | 35,745  |        | 3,517  |
|               | 交通費        | 18,462            | 12,853 | 31,315  | 14,729 | 46,045  |        | 4,530  |
|               | 入場・観覧費・その他 | 12,350            | 6,453  | 18,803  | 8,844  | 27,647  |        | 2,720  |
|               | 総額         | 57,783            | 64,293 | 122,076 | 57,420 | 179,496 |        | 17,659 |

| 区分                   | 消費区分       | 観光による総合波及効果 (百万円) |        |        |       |        | 波及倍率   | 雇用誘発数 |
|----------------------|------------|-------------------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|
|                      |            | 観光による直接効果額        |        |        | 波及効果  |        |        |       |
|                      |            | 日帰り客              | 宿泊客    | 計      |       |        |        |       |
| 観光目的<br>訪日外国人<br>観光客 | 宿泊費        | 0                 | 5,100  | 5,100  | 2,409 | 7,509  | 147.2% | 782   |
|                      | 飲食費        | 0                 | 2,186  | 2,186  | 1,032 | 3,218  |        | 335   |
|                      | みやげ代       | 0                 | 1,791  | 1,791  | 846   | 2,637  |        | 274   |
|                      | 交通費        | 0                 | 2,593  | 2,593  | 1,225 | 3,818  |        | 397   |
|                      | 入場・観覧費・その他 | 0                 | 1,302  | 1,302  | 615   | 1,917  |        | 200   |
|                      | 総額         | 0                 | 12,972 | 12,972 | 6,127 | 19,100 |        | 1,988 |

| 区分              | 消費区分       | 観光による総合波及効果（百万円） |        |        |        |        | 波及倍率  | 雇用誘発数 |
|-----------------|------------|------------------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|
|                 |            | 観光による直接効果額       |        |        | 波及効果   |        |       |       |
|                 |            | 日帰り客             | 宿泊客    | 計      |        |        |       |       |
| ビジネス目的<br>県内観光客 | 宿泊費        | 0                | 8,247  | 8,247  | 3,925  | 12,172 | 1,237 |       |
|                 | 飲食費        | 202              | 3,535  | 3,737  | 1,778  | 5,515  | 561   |       |
|                 | みやげ代       | 270              | 2,896  | 3,167  | 1,507  | 4,673  | 475   |       |
|                 | 交通費        | 370              | 5,448  | 5,818  | 2,769  | 8,586  | 873   |       |
|                 | 入場・観覧費・その他 | 216              | 2,106  | 2,322  | 1,105  | 3,427  | 348   |       |
|                 | 総額         | 1,058            | 22,232 | 23,290 | 11,084 | 34,374 | 3,495 |       |

| 区分              | 消費区分       | 観光による総合波及効果（百万円） |        |        |        |         | 波及倍率   | 雇用誘発数 |
|-----------------|------------|------------------|--------|--------|--------|---------|--------|-------|
|                 |            | 観光による直接効果額       |        |        | 波及効果   |         |        |       |
|                 |            | 日帰り客             | 宿泊客    | 計      |        |         |        |       |
| ビジネス目的<br>県外観光客 | 宿泊費        | 0                | 35,859 | 35,859 | 16,933 | 52,792  | 5,472  |       |
|                 | 飲食費        | 693              | 15,369 | 16,062 | 7,585  | 23,647  | 2,451  |       |
|                 | みやげ代       | 927              | 12,593 | 13,520 | 6,384  | 19,904  | 2,063  |       |
|                 | 交通費        | 1,109            | 18,235 | 19,344 | 9,135  | 28,479  | 2,952  |       |
|                 | 入場・観覧費・その他 | 742              | 9,155  | 9,897  | 4,674  | 14,571  | 1,510  |       |
|                 | 総額         | 3,471            | 91,212 | 94,684 | 44,710 | 139,393 | 14,449 |       |

| 区分                     | 消費区分       | 観光による総合波及効果（百万円） |        |        |        |        | 波及倍率  | 雇用誘発数 |
|------------------------|------------|------------------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|
|                        |            | 観光による直接効果額       |        |        | 波及効果   |        |       |       |
|                        |            | 日帰り客             | 宿泊客    | 計      |        |        |       |       |
| ビジネス目的<br>訪日外国人<br>観光客 | 宿泊費        | 0                | 14,673 | 14,673 | 6,931  | 21,604 | 2,249 |       |
|                        | 飲食費        | 0                | 6,289  | 6,289  | 2,971  | 9,259  | 964   |       |
|                        | みやげ代       | 0                | 5,153  | 5,153  | 2,434  | 7,587  | 790   |       |
|                        | 交通費        | 0                | 7,462  | 7,462  | 3,525  | 10,986 | 1,144 |       |
|                        | 入場・観覧費・その他 | 0                | 3,746  | 3,746  | 1,770  | 5,516  | 574   |       |
|                        | 総額         | 0                | 37,323 | 37,323 | 17,630 | 54,953 | 5,720 |       |

| 区分 | 消費区分       | 観光による総合波及効果（百万円） |         |         |         |         | 波及倍率   | 雇用誘発数 |
|----|------------|------------------|---------|---------|---------|---------|--------|-------|
|    |            | 観光による直接効果額       |         |         | 波及効果    |         |        |       |
|    |            | 日帰り客             | 宿泊客     | 計       |         |         |        |       |
| 合計 | 宿泊費        | 0                | 96,076  | 96,076  | 45,353  | 141,429 | 14,338 |       |
|    | 飲食費        | 32,607           | 41,178  | 73,785  | 34,811  | 108,596 | 10,697 |       |
|    | みやげ代       | 43,620           | 33,739  | 77,359  | 36,492  | 113,851 | 11,124 |       |
|    | 交通費        | 56,850           | 51,163  | 108,013 | 50,963  | 158,976 | 15,543 |       |
|    | 入場・観覧費・その他 | 34,902           | 24,529  | 59,431  | 28,035  | 87,466  | 8,533  |       |
|    | 総額         | 167,979          | 246,685 | 414,664 | 195,654 | 610,317 | 60,236 |       |

※四捨五入の関係で合計が一致しないことがあります。

## 統計資料等を活用した県内景気動向等の分析調査（まとめ）

### I. 宮城県の景気動向

令和7年の宮城県の景気動向は、緩やかに持ち直しているものの、住宅投資、雇用等において弱い動きとなっている。

①生産：持ち直しの兆しがみられる

業種別にみると、輸送機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業など5業種で上昇傾向にある。

②住宅投資：減少している

新設住宅着工戸数では、持家・貸家ともに減少傾向にある。

③公共投資：横ばい圏内の動きとなっている

公共工事請負金額は増加し、発注者別には、国及び市町村は増加傾向にあり、県及び独立行政法人・地方公社等は減少傾向となっている。

④個人消費：回復の動きに足踏みがみられる

百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額は好調で増加傾向にあり、ホームセンター販売額は減少傾向となっている。

⑤雇用：弱めの動きとなっている

有効求人数及び新規求人数は、ともに減少傾向にある。新規求人数を産業別にみると、「医療、福祉」、「公務・その他」、「学術研究、専門・技術サービス業」で増加となった一方、「サービス業」、「建設業」、「生活関連サービス業、娯楽業」などで減少となっている。

### II. 宮城県の商圈（消費購買動向調査）

利府町は、地域型商圈として県内一番の伸長（+17.5%）となっており、地元購買率も前回調査と比較すると11.3ポイント増加している。

①商圈の変化

当町の「利府商圈」は、地域型商圈の位置づけではあるものの仙台市中心部（駅前～一番町）の商圈内吸引人口が減少するなかで、県内でもトップの商圈内吸引人口増加率となっている。

②消費者の買物動向

今回調査（令和3年）で初めて、買物先店舗の形態別支持率（買回品）において、「通信販売（ネットショップ等）」（17.1%）が「一般商店・専門店」（14.3%）を上回った。

③地元商店・商店街に求める役割

地元商店・商店街に求める役割として「日用品・食料品の販売」が最も多く、次いで「外食サービスの提供」「まちなぎわい創出の担い手」の順となっており、日常生活を支える役割が期待されている。

### III. 観光動向（観光統計概要）

コロナ禍の収束により、松島への観光客は戻りつつある。

①観光客入込数

松島の令和6年観光客入込数は、5,810千人となっており、前年と比較すると186千人の増加となっている。

②宿泊観光客数

松島の令和6年宿泊観光客数は、519千人となっており、前年と比較すると31千人の減少となっている。